

ようじえんだより 2019年度5月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

5月主題『見つけたよ』

主題聖句：天の下にあるすべてのものはわたしのものだ ヨブ記4章3節

☆ 0～2歳児：さんびかに親しむ。あたたかい、穏やかなことばに満たされる。園生活に慣れ、好きな遊びを見つける。自然の中で花や虫を見つけ、保育者に伝えようとする。

☆ 3～5歳児：さんびか、祈り、聖書のお話を通して神さま・イエスさまを身近に感じる。好きな場所や素材・遊具・花や虫などを見つけ、親しむ。安心して過ごす中で、気持ちを表したり、伝えたりする。季節にあった歌を歌ったり、保育者とわらべ歌やふれあい遊びを楽しむ。

みてみて！

4月20日(土)に保護者の皆さんに園庭等を清掃していただき、子どもたちが早速園庭で遊び始めています。その中で年長児の男の子が「ねえ、園長マン！みてみて！」と叫んでいます。幼児用のオレンジのバケツの中をのぞいてみると…1匹の虫がいます。「ダンゴムシがいるね」と言うと、「違うよ園長マン！これは、ワ・ラ・ジ・ム・シ！わかった！？」と注意されてしまいました。確かにダンゴムシのように丸くならず、もっと平べったい虫です。「ダンゴムシとワラジムシの違いを知ってるんだね。すごいね」と言うと、得意そうに「そんな前から知ってるよ」とかっこいい言葉が返ってきました。子どもたちは虫を捕まえるだけでなく、その虫のことを友だち同士で情報共有したり、図鑑で調べたりもしているようです。生きた学びをして、日々大きく成長している子どもたちを頼もしく思いました。

子どもの声に耳を傾ける

元来子どもは自分の話をたくさん聞いてもらいたいと願う存在です。だから「ねえねえ、きいて！」とよく言います。話したい、伝えたいとい

う意欲は、大切な育ちであると思います。しかし自分自身を顧みても、子どもの話そうとする言葉に耳を傾けていなかったり、うわの空で聞いていたかと思えば、子どもが話してもいないことを根掘り葉掘り聞きだすことが多かったと反省することが多いです。また子どもに人の話を聞くことばかりを求めてしまうこともあります。しかし自分の話をよく聞いてもらった経験のある子どもほど、人の話を落ち着いて、よく考えながら聞けるようになると乳幼児保育の世界では言われます。人の話をよく聞けるようになるために、その子の話を心を傾けてよく聴くことは、大人の大切な務めだと思えます。

いよいよ冒険が始まる

子どもたちの泣き声が少なくなってきました。子どもたちが幼稚園での生活に慣れてきて、周囲の様子を見渡して、面白そうなことに目が行くようになる時期になりました。新緑がまぶしく、風が心地よい、本当に良い季節です。室内だけでなく、園庭や園外保育にも出かける「冒険」を積み重ねながら、みんなで育ちあっています。 園長：久保田愛策

年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。

旧約聖書 詩編1編3節